

# 手の中にピアノ線、それでもシラを切るゴト師…。 その時、立件するために何が必要かを学んだ。

皆様、明けましておめでとう御座います。昨年は何人の方が「斬られ」ましたかな？  
本年も沢山「斬らして」頂きますので宜しくお願い致します。

さて、前回では勇敢な女性従業員、のんびりした男性従業員の行動についてお知らせした。

賛否両論有って結構だが是非役立てて欲しい。今回は更に事例を元に追求して行こう。「斬、耕平が斬る！」

## ピアノ線ゴトについて…

この2〜3年の間、毎日どこかでピアノ線ゴト事件が発生している。既に40年程前から有り、それ故に職人技とも言える程の腕を持つ高齢者も多い。そいつが弟子を育てて技術を伝承？している。弟子からするとお師匠様と言ったところか。

さて、先日関西のあるホテルでピアノ線ゴト師が捕まった。年の頃は30前後、狙った台は「鬼の城」だ。壁役と2人でやっており、壁役は残念

ながら逃亡したが実行犯は捕まえることが出来た。この事件は弊社が警察に協力している。しかし本人は否認している。ピアノ線ゴトでもなんでも、本人が頑として否認してしまうと起訴に持ち込む事が大変難しい。昔、私が協力したピアノ線ゴト事件を例にとつて説明しよう。

## 過去の事件…

15年程前の事だ。ピアノ線ゴト師が来て捕まえた、ある都内の警察署から相談が有

「これがゴト師の使っていた道具なんですがね、どうにもこれが上手く入らないんですよ」

と、ピアノ線を見せた。「これが上手く入らないと、裁判官に『それを実際に入れる事が出来ないとなると、被告人がそれを使って不正に玉を出した事にはならない』と言われちゃんですよ」

と、いかにも柔道を長年やっていたというがっしりとした身体と、潰れた耳の中年刑

事が眉をしかめながら説明した。

「いや〜刑事さん、これだけで入るわけじゃないですから」「・・・と言いますと？」

「これは通称『子』と呼ばれていて、ゲタと呼ばれる、親が無ければ台に差し込めないのです」

「え、そうなんですか！ 逆にそれが有れば差し込む事が出来、被告人の犯罪を立証する事が出来るのですね!」  
「それは刑事さんの仕事ですから私には分かりませんが、

った。機種名は忘れたがパチンコ台だった。事件のあらま

下皿に手を起き、ゴソゴソと手を動かしているのに気付いた店員が、事務所でデータを確認すると、異常なベイス上がりをしていて、そこで島端から覗いていると、小アタッカーは開きっぱなしと言つていい程に開いている。店員は目を丸くした。この台は一瞬だけ開く小アタッカーがついていた。普段は一瞬だ

このピアノ線を入れ、実際にアタッカーを開けるところまではお手伝い出来ますよ」  
「ぜ、ぜひお願いします！」

私はゲタを作つてやった。本物同様のプラスチックを用意する事が出来ない、簡易的なものだったが、裏から盤面を手で開く等の補助をすることでホールに戻り実演を行った。

「あ〜開きました！」  
「おう、凄い、本当にアタッカー開いてるよ」  
何人も集まった店員と刑事

さんは、ピアノ線を使ってアタッカーを開けたり閉めたりする私を見て驚いた。  
「いや〜流石ですねお見事です、これじゃあゴト師も形無しですな」  
と、とても褒め言葉とは思えない言葉で褒めてくれた。

## 結果は…

「結局、立件出来ませんでした。ご協力頂いたのに本当に申し訳ありません。」  
との連絡があったのは、立証に付き合った日からほぼ2ヶ月も過ぎた頃だった。電話の向こうで、耳が潰れた大き

「きつきさま、これはなんだ!」  
「なんだってなんだよ? 何もしてないよ!」  
「何言つてんだ、このピアノ線を使ってアタッカーを開いていたじゃないか!」  
「知らない知らない、ただ何か手に当たると思っただけ!」  
「現に手に持ってるじゃないか!」  
「変なものがあると行って、引つ張りだそうとしただけだよ!」

なんとも恐ろしい言い訳である。ゴト現場を取り押さえられ、その手にはピアノ線が握られていたという絶体絶命にも関わらず、本人は頑として自分はやっていないと否認しているのだ。  
「容疑者が否認しているので、なんとか起訴に持ち込みたいのでご協力頂けませんか?」  
担当警部はこう切り出した。

もちろんこの仕事を生業としているのだから拒む理由はない。「出来る事であれば協力致します」と言つて警察署に向かった。

ツクだったが、その後のゴト師との対応を含め、非常に参考となったことは収穫と言える。

冒頭の関西の事件では、幸い台間カメラに犯行現場がばっちり写っているので、警察は本人否認のままでも起訴に持ち込めると強気だ。今年の2月までには結論が出るだろう。

この事件の様に犯行現場を録画出来れば、こいつの言う「偶然何かに触つたので引き出そうとした」を、覆す事が出来たかもしれない。防犯カメラに金属探知機、さらに従業員教育まで、絶対に必要なものが見えて来た。今回はその防犯カメラを詐欺同然の様に売り込んだ手口から、電波発信器まで掘り下げた。斬らして、頂こう。



Illustration : t.tsukamoto



なかの こうへい  
1957年高知県出身。大手OA機器販売メーカー・大手建設会社などでの勤務経験の後、パチンコ業界に入る。その後、三十年以上にわたり、パチンコ業界の全てを研究しつつ、各遊技業協同組合でも不正防止講演会に講師として参加するなど、不正防止の知識を広く伝えるべく活動を行っている。



記事に関するお問い合わせはA・P総研まで Tel.03-3202-0971